

洞爺中学校「リサイクルハウス」を製作 愛称「くるくるりさいくる」に決定

4月に古紙やスチール缶など資源ごみを回収する「リサイクルハウス」を製作した洞爺中学校（加賀谷真由美校長）で、このたび同ハウスの愛称を生徒会が募集し、「くるくるりさいくる」という名前に決定しました。

同中学校は、環境への負荷が少なく持続可能な社会をめざす環境教育に力を入れていて、「スチール缶リサイクル協会」（東京）から受けた10万円の助成金を活用し、校務員の千葉正博さんが完成させました。

現在、保護者や地域の皆さんの協力で、資源ごみが多く収集され、成果を上げています。



愛称が決定したリサイクルハウス

移住・定住を視野に、女性との出会いの場を町内男性に作るうと、



記念撮影に臨む誕生したカップルの皆さん

（洞爺湖町婚活交流事業実行委員会）が、昨年に引き続き8月2日、3日の2日間洞爺湖畔で開催されました。

20歳以上の未婚者を対象に、町内の男性が26名、女性は、伊達、室蘭、札幌、滝川など道内各地から31名が参加しました。

第1日の交流会では、牧場でジェラート作りを体験したり、洞爺湖ロングラン花火大会を鑑賞するなどして楽しみました。2日目は、トーク、告白タイムが行われ、21組のカップルが誕生しました。

町内男性に出会いの場を提供 夏の婚活交流会in洞爺湖

夏休みに総合交流を行っている箱根町から、箱根町親善訪問使節



植樹後記念撮影を行う両町の中学生

団（団長勝股みどり箱根中総括教諭）が、8月4日から2泊3日の日程で洞爺湖町を訪れました。来町したのは、箱根町の中学3年生6人と引率者2名。

歓迎式では、真屋町長が「短い期間ですが、洞爺湖町の良さを味わって行ってほしい」と挨拶し、使節団を代表して、箱根中の渡辺葉絵留さんは「この3日間が洞爺湖町と箱根町を強く結びつけるものにしたい」と決意を述べました。翌日には、地元中学生と交流を行い、姉妹都市提携50周年を記念して、虻田中学校の校庭にソメイヨシノ3本を植樹しました。

変わらぬ交流 箱根町親善使節団来町

温泉街の繁栄を祈願 薬師の日湯かたまつり

8日の薬師の日にちなみ、8月8日「薬師の日湯かたまつり」（湯前薬師如来奉賛会主催=朝倉英隆会長）が、足湯ポケットパークとにぎわい広場を会場に開かれました。

同パーク内にある「湯前薬師如来堂」前で行われた法要祭では、約40人が参列し、洞爺湖温泉の繁栄と安全を一人ひとりが祈願。朝倉会長が「皆さんの協力で、地域の大切なお堂として、守っていかねばならない」と挨拶し、法要祭を終了しました。

にぎわい広場では、昨年に続き道の駅とうや湖が出店し、地場産の野菜を販売したほか焼き鳥や飲み物なども提供され、住民らは、短い夏の夜を楽しみました。



温泉街の繁栄と安全を祈願する朝倉会長

まちのわだい

